

銀座の老舗をとりこにした
町工場のテクノロジー

|| AERO CONCEPT ||

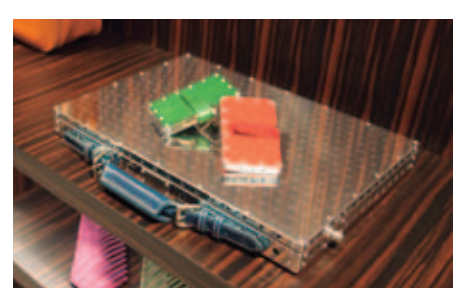
エアロ コンセプト

文=小川フミオ 写真=五十嵐隆裕

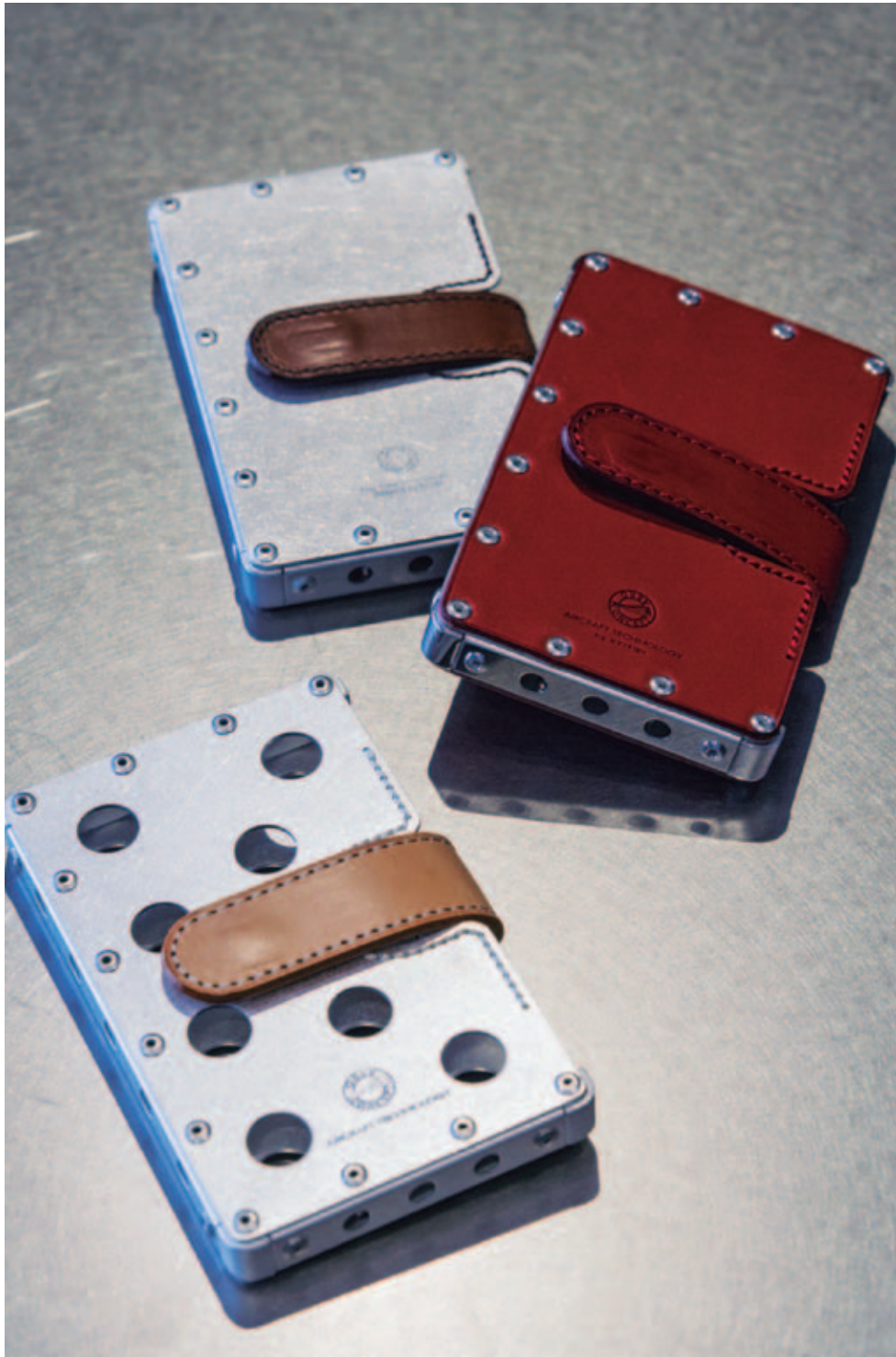
日本の町工場の技術は世界一。そう言われて久しいが、一般人には実感が湧かない。そこにあって、近年一躍名をとどろかせたのが、金属加工の粋を凝らして製品づくりをしている「エアロコンセプト」。東京の町工場を原点にアルミニウムやジュラルミンといった航空機用部品を手がけてきた会社が、その技術をバッグや小物に応用した。強度と軽量化を両立させつつ、美しく染色された革を手で縫い上げた美意識の見事な融合。

「妥協せず自分が納得したものだけつく」と、エアロコンセプト代表職人の菅野敬一さんは言う。全国の小売店からは取り扱ひの申し込みが殺到したが「私の商品をきちんと理解してくださるお店に限らせていただいています」と菅野さん。

そのうちのひとつが銀座の「田屋」。自社工場でデザイナーから専任の織り職人まで抱え、オリジナルリテイの高いネクタイを手掛ける老舗だ。金属製品とネクタイは異色の取り合わせに思えるが、「エアロコンセプトと田屋のポリシーは響き合うものがあつた」と梶原都美江専務取締役は語る。「縫製に使う糸一本からのこだわりがすごい」とは、高い織り技術を持つ田屋らしい注目点だ。



名刺入れのほか、ジュラルミンのブリーフケースの「スーパーランスポーター」(25万2000円)も人気。



名刺入れ「エミージャ」はカラー、タイプが豊富。奥から「エヌ」(2万1000円)、「ミネルヴァボックス」(2万6250円)、「エテ2006」(●万●●●●円)



ネクタイをはじめとする紳士洋品の老舗。2年前の改装ではステンレスを使った内装、外装に。エアロコンセプトとの調和が意識された。

田屋 銀座本店
中央区銀座4-6-17 ☎03-3563-3431
🕒10時~19時30分 📅元日のみ

